

令和5年度
事業計画書

特別養護老人ホーム眺峰園

目 次

1 事業運営計画-----	P 1
2 実施施策の令和5年度行動計画-----	P 2
(1) 職員が働きやすくやりがいを感じられる職場づくり-----	P 2
(2) 利用者の生活を支えるサービスの質の向上-----	P 5
(3) 安定的で持続的な経営基盤の確立-----	P 8
3 目標利用率-----	P10
4 固定資産物品購入計画-----	P 10
5 修繕計画-----	P 10
6 大規模修繕計画-----	P 10

1 事業運営計画

事業の種類及び利用定員					
1	介護老人福祉施設	70名			
2	短期入所生活介護	10名			
3	居宅介護支援				
運営方針					
1	介護老人福祉施設				
	(1) 施設入居者の選択と自己決定を尊重し、その権利を擁護するとともに、個人の尊厳に配慮した個別サービスを実施し、選ばれる施設を目指していく。				
	(2) 地域の関係機関との連携強化に努めるとともに、関係法令や社会的ルールを遵守し、積極的な情報開示と情報提供を行い、開かれた施設を目指していく。				
	(3) 職員の質の向上と専門性を高め、より質の高いサービスを提供できる施設を目指していく。				
	(4) 福祉ニーズを的確に把握し、地域福祉向上のために積極的に対応していく。				
	(5) 事業の持続的発展を図るため、法制度改正等の情報収集を行うとともに事業実施体制の改善を行い、安定的な財務基盤の確立を図る。				
2	短期入所生活介護				
	(1) 利用者の選択と自己決定を尊重し、その権利を擁護するとともに、個人の尊厳に配慮した個別サービスを実施し、選ばれる施設を目指していく。				
	(2) 地域の関係機関との連携強化に努めるとともに、関係法令や社会的ルールを遵守し、積極的な情報開示と情報提供を行い、開かれた施設を目指していく。				
	(3) 職員の質の向上と専門性を高め、より質の高いサービスを提供できる施設を目指していく。				
	(4) 福祉ニーズを的確に把握し、地域福祉向上のために積極的に対応していく。				
	(5) 事業の持続的発展を図るため、法制度改正等の情報収集を行うとともに事業実施体制の改善を行い、安定的な財務基盤の確立を図る。				
3	居宅介護支援				
	(1) 利用者の選択により、心身状況、その置かれている環境等に応じて、適切な支援及び協力を行う。				
	(2) 利用者の選択により、心身状況、その置かれている環境等に応じて、適切な保健医療サービス及び福祉サービスが、多様な事業者から、総合的かつ効率的に提供されるよう配慮する。				
	(3) 利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ち、利用者に提供するサービス等が特定の種類、又は特定のサービス事業者に不当に偏することのないよう公平中立に行う。				
	(4) 関係市町村、地域の保健・医療・福祉サービスとの綿密な連携を図り、関係法令や社会的ルールを遵守し、積極的な情報開示と情報提供を行い、開かれた事業所を目指す。				
	(5) 職員の質の向上と専門性を高め、より質の高いサービスを提供できる事業所を目指す。				
	(6) 事業の持続的発展を図るため、法制度改正等の情報収集を行うとともに事業実施体制の改善を行い、安定的な財務基盤の確立を図る。				
職種別職員配置					
1	介護老人福祉施設・短期入所生活介護				
	職種	正規職員	準職員	非常勤職員	合計

施設長	1			1
事務職員	2	1		3
栄養士	1			1
調理員	2	2	1.8	5.8
生活相談員	2			2
介護支援専門員	1			1
介護職員	24	18	2.8	44.8
看護職員	3	1	0.5	4.5
機能訓練指導員	1			1
夜間介護員				
介護助手				
警備従事者			1	1
用務員			3.2	3.2
合計	37	22	9.3	68.3

2 居宅介護支援

職種	正規職員	準職員	非常勤職員	合計
管理者	(1)			(1)
介護支援専門員	1			1
合計	1(1)			1(1)

縣市町村等からの受託、補助事業等

- 1 介護予防支援業務（地域包括支援センター）
- 2 ユニットリーダー研修実地研修の実施委託

地域における公益的な取組

- 1 社会福祉法人等による利用者負担軽減制度の利用による生活困窮者の支援
- 2 災害発生時の福祉避難所としての役割
- 3 川合まちづくりセンターの依頼に基づいた取組の実施
- 4 大田市介護サービス事業者協議会において実施される取組への協力

2 実施施策の令和5年度行動計画

(1) 職員が働きやすくやりがいを感じられる職場づくり

ア 福祉・介護業界のイメージアップを図り、多様な働き方を推進する。

実施施策	介護人材確保に向けた効果的な広報発信
取組の方向性①	介護員に欠員が生じた際、求人手段として、ハローワークや福祉人材センター、新聞折り込みチラシでの求人を行っているが、他の方法も検討し、速やかに欠員が補充できるように取組を強化する。

行 動 計 画	<ul style="list-style-type: none"> 大田市役所に設置されているデジタル広告塔での事業所紹介を継続する。 施設紹介チラシと求人広告を新聞折込みで配布し介護員の確保に繋げる。
取組の方向性②	圏域内において人材の速やかな確保に繋げることができるよう、他施設と情報共有し人材確保に向けた取組を行う。
行 動 計 画	<ul style="list-style-type: none"> ハローワーク石見大田が毎月開催する会社説明会に清風園と合同でブースを出し、説明会参加者に業務内容や採用条件等説明を行い人材確保に繋げる。 島根県福祉人材センターが行う「福祉のお仕事相談会」に清風園と合同で参加し、相談会参加者に業務内容や採用条件等説明を行い人材確保に繋げる。

実 施 施 策	次世代の介護人材の確保
取組の方向性①	圏域の事業所から研修講師依頼があった際には、ユニットリーダー等職員を講師として派遣し、講義の中で、介護の魅力等を伝え、介護を職業として志す人材を増やすことができるよう取組を継続する。
行 動 計 画	<ul style="list-style-type: none"> 島根中央地域職業訓練センター等の養成機関から講師派遣依頼があった際は、講師派遣を行い、介護を職業として志してもらえよう、講義の中で介護の魅力を伝える。
取組の方向性②	圏域の事業所から研修講師依頼があった際に、研修講師を務めることができる職員の育成を行う。
行 動 計 画	<ul style="list-style-type: none"> 外部より依頼があった際に講師を務められるよう、研修部会員を中心に園内研修の講師を務め、経験を積む。 講義内容をより良いもの出来るよう、講師は、研修部会で事前に講義の組み立てと資料のプレゼンテーションを行い、メンバーよりフィードバックを受ける。

イ OJT 制度を中核に職員一人ひとりを育成し、チームケアを推進する。

実 施 施 策	次世代の福祉人材の育成
取組の方向性①	園内研修へ多くの職員の参加が難しい状況であることから、効果的な園内研修の実施方法を検討・実践し、職員のスキル向上を図る。
行 動 計 画	<ul style="list-style-type: none"> 1 時間枠の園内研修において、法定以外の現場ニーズに基づくテーマの研修を多く実施出来るよう、1 テーマを 30 分とし、2 テーマを毎月実施する。 学習機会を多く持てるよう、研修部会でまとめた短時間動画をユニット会議等で視聴し、スキルの向上を図る。
取組の方向性②	外部研修に意欲を持ち参加できるよう職員ニーズに沿った外部研修へ派遣

	し職員のスキル向上に継続して取り組む。また、施設課題を改善できるような施設ニーズに沿った外部研修へ派遣し施設のレベル向上を図る。
行 動 計 画	<ul style="list-style-type: none"> ・ OJT 面談や人事考課面接において、職員の研修ニーズを把握し、ニーズに沿った研修（集合研修・オンライン研修）へ派遣する。 ・ ユニットケアや看取り介護、介護技術等施設ニーズに沿った研修（集合研修・オンライン研修）に派遣し、施設レベルの向上を図る。

実 施 施 策	職場内の横の関係強化
取組の方向性①	職員同士の信頼関係を構築し、チーム力の向上が図れるよう職場内 OJT 制度を充実させる。
行 動 計 画	<ul style="list-style-type: none"> ・ バイジューの取組内容をユニットスタッフが共有し、チームでバイジューの目標達成を支援する体制作りを行う。
取組の方向性②	職場内 OJT 面談において、効果的な面談を実施し、職員を育成することができるよう、面談技術の向上を図る。
行 動 計 画	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループリーダーが職場内 OJT 定期面談に同席し、面談終了後にバイジューへ面談方法についてフィードバックを行う。

ウ 職場風土を改善し、職員の定着率とモチベーションを高める。

実 施 施 策	多職種との連携と専門性の向上
取組の方向性①	多職種間において円滑なコミュニケーションが図れる職場環境作りの取組を強化する。
行 動 計 画	<ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニケーション向上月間目標の取組を継続する。また、各部署の定例会議等において自己評価と多面評価を行う。
取組の方向性②	多職種協働を行っていく上で、各専門職の知識や技術力の向上が必要であることから、各専門職の知識・技術力の更なる向上に取り組む。
行 動 計 画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護支援専門員、看護師、機能訓練指導員、管理栄養士、調理員、主事は、多職種協働を行っていく上で向上したいスキルを一つ決め、1年間取組を行う。また、人事考課の期首及び期末面接で取組結果等の確認を行う。 ・ 介護員について、向上させるべき介護技術を園として一つに絞り、定期的に研修を実施する。

実 施 施 策	職員の定着や職員間の交流に向けた取組
取組の方向性①	準職員、非常勤職員の定着に繋がるよう、定期的に管理職が面接を実施する。
行 動 計 画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 準職員・非常勤職員を対象に年2回（6月、2月）管理職面接を行う。
取組の方向性②	職員が職業意識を高く持ち、仕事に取り組むことができるよう、職員のモチベーション向上に新たにに取り組む。

行 動 計 画	<ul style="list-style-type: none"> 外部講師による研修を実施し、モチベーションを向上させる。 前年度に作成したモチベーションセルフチェックを継続して実施する。
---------	--

エ 業務の生産性を高め、ワークライフバランスを推進する。

実 施 施 策	ICT 機器の積極的活用と職員の負担軽減
取組の方向性①	ICT 検討委員会において、業務負担を軽減できる ICT 機器を検討し計画的に導入するとともに、導入した ICT 機器の積極的活用を行う。
行 動 計 画	<ul style="list-style-type: none"> 各ユニットで眠り SCAN を有効活用できるよう、令和 4 年度の ICT 検討委員会での検討結果を周知し、活用を促す。

実 施 施 策	移乗用具の活用による腰痛予防と身体への負担軽減
取組の方向性①	脱衣場における移乗介助時の腰痛予防及び入居者・職員双方の身体的負担軽減を目的として天井走行リフトを計画的に導入する。
行 動 計 画	<ul style="list-style-type: none"> 天井走行リフトの対象者像や活用方法、設置の必要性等について、ユニットリーダー会議等で検討する。
取組の方向性②	機能訓練指導員を中心に、移乗用具の技術伝達を行い、移乗用具の積極的活用と抱え上げない介護を促進する。
行 動 計 画	<ul style="list-style-type: none"> 機能訓練指導員が、各入居者の移乗方法を把握し、適切な移乗介助が実施出来ているか定期的に確認するとともに、必要に応じて技術指導を行う。

実 施 施 策	職場におけるストレス軽減に向けた取組
取組の方向性①	職員のストレスを把握し、職員のストレスを軽減できるようストレスマネジメントの取組を継続する。
行 動 計 画	<ul style="list-style-type: none"> ストレスチェック表から、ストレスを強く感じる項目を部署ごとに一つ選択し、改善策を検討・実施し、ストレス軽減に取り組む。
取組の方向性②	職員同士が協力し合い業務に取り組むことができるよう職員のフォローシップ力の向上に新たにに取り組む。
行 動 計 画	<ul style="list-style-type: none"> 外部講師を招聘し、6 月～9 月の間で、チームワークに関する研修を実施する。学んだ内容を実践し、11 月又は 12 月にフォローシップチェックを行い、取組成果を確認する。

(2) 利用者の生活を支えるサービスの質の向上

ア 先進的で魅力あるサービスを提供し、サービスの質を高める。

実 施 施 策	ユニットケアの質の向上
取組の方向性①	ユニットリーダー研修実地研修施設チェックシート・実地研修施設選定調査票（自己評価）を用い現状分析を行い、改善が必要な項目の改善を行い

	ユニットケアの質の更なる向上を図る。
行 動 計 画	・ 令和4年度に改善項目としたものについて、改善のための取組を継続するとともに、9月及び2月に取組評価を実施する。
取組の方向性②	ユニットケアの質の向上を図れるよう、先進的な取組を行っている他県のユニットリーダー実地研修施設の視察を行う。
行 動 計 画	・ 関西、中四国又は九州のユニットリーダー実施研修施設へ職員を派遣する。 ・ 派遣が難しい場合は、全国老人福祉施設研修大会等の研修資料から先進的な取組、活用できる取組等を学ぶ。

実 施 施 策	その人らしい生活へのサポートの充実
取組の方向性①	個別ケアの充実を図れるよう24Hシート各項目の記載内容の更なる充実に取り組む。
行 動 計 画	・ 意向・好み聞き取りシートを活用し、24Hシートの意向・好み欄の記載が増えるよう取組を継続する。
取組の方向性②	24Hシートと記録の連動を図ることにより入居者の暮らしを見える化し、その人らしい生活へのサポートの充実に取り組む。
行 動 計 画	・ ユニットケア部会員が中心となり、各ユニットの記録が24Hシートと連動したものとなっているか定期的に確認を行い、24Hシートと記録が連動するように取り組む。

実 施 施 策	高齢者の理解と看取りケアの充実
取組の方向性①	看取り期を迎えた入居者それぞれの状況に適した看取りケアの実践が行えるよう看取りケアスキルのレベルアップを図る。
行 動 計 画	・ 外部講師による研修を実施し、介護に携わる全てのスタッフが、アドバンス・ケア・プランニングの理解を深められるようにする。
取組の方向性②	看取り期を迎えた入居者が、最期に至るまで、その人らしい生活を継続できるよう多職種と家族が連携した看取りケアの一層の充実を図る。
行 動 計 画	・ 看取りケアへの家族の理解を深めるため、年1回家族向けの研修会を実施する。 ・ 感染症等の影響により実施が難しい場合は、アドバンス・ケア・プランニング等に関する情報提供を行う。

イ 安全安心で快適な暮らしを保障し、利用者の満足度を高める。

実 施 施 策	自己評価の実施と課題解決に向けた取組
取組の方向性①	眺峰園ユニット職員到達目標を用い、職員一人ひとりのレベルアップを図り、ユニット職員として求められる適切なサービスの提供を實踐できるように取組を強化する。

行 動 計 画	<ul style="list-style-type: none"> 各ユニットで、ユニットケア到達目標の中から一つ目標を定め、1年を通して実践し、ユニットリーダーが定期的に実施状況を確認する。
---------	--

実 施 施 策	災害や感染症等発生に伴う施設内での助け合い
取組の方向性①	災害や感染症が発生した際にマニュアルに沿って迅速かつ適切な行動がとれるようマニュアルの周知を図る。また、現状に沿ったマニュアルとなるよう定期的な見直しを行う。
行 動 計 画	<ul style="list-style-type: none"> 訓練実施2か月前に、各部署でマニュアル内容の確認を行う。 状況変化等に伴い、マニュアルを見直す必要がある際は見直しを行う。
取組の方向性②	災害や感染症により、ユニット間協力が必要となった際の協力体制の確立やシミュレーションの実施により危機管理体制を強化する。
行 動 計 画	<ul style="list-style-type: none"> 年間計画に基づき、災害（火災・土砂）及び感染症発生対応訓練を行う。

実 施 施 策	その人に応じた美味しい食事提供
取組の方向性①	食事形態の多様化が求められ、作業の効率化を図る必要があることから、作業の効率化を考えた厨房機器の更新を行う。
行 動 計 画	<ul style="list-style-type: none"> 冷凍カット野菜を使った調理の効率化と、調理員の適正配置を行うに当たり、冷蔵庫・冷凍庫の容量を検討し、必要に応じて更新する。
取組の方向性②	入居者の多様な食事形態に対応できるよう、職員体制や食事提供内容、作業工程の見直しを図る。
行 動 計 画	<ul style="list-style-type: none"> 真空包装機の導入により時間と機材を効率化できたことから、短縮できた時間を活用する体制作りを行う。
取組の方向性③	入居者の嚥下状態に適した食事形態を検討し、提供に繋げることができるよう介護職員の嚥下調整食コード分類に対する理解促進を図る。
行 動 計 画	<ul style="list-style-type: none"> メーカーの協力を得て10月に研修を実施し、嚥下状態に応じた増粘剤の適切な使い方を学ぶ。

ウ 施設機能を積極的に開放し、地域とのつながりを強化する。

実 施 施 策	圏域内での連携とニーズ把握による事業展開
取組の方向性①	大田市介護サービス事業者協議会が開催する会議、研修会へ参加し、大田圏域の特別養護老人ホームや他事業所と情報交換等を行い連携を図る。
行 動 計 画	<ul style="list-style-type: none"> 大田市介護サービス事業者協議会における活動を通じて、各施設との情報交換を行い、圏域の情報を把握する。
取組の方向性②	大田市社会福祉協議会等と連携を図り、地域ニーズを把握し、ニーズに基づいた地域貢献活動を行う。
行 動 計 画	<ul style="list-style-type: none"> 大田市社会福祉法人連絡会を通じて、地域貢献活動を検討する。

実施施策	地域との関わり強化と地域の人材の利活用
取組の方向性①	川合まちづくりセンターと川合地区における災害発生時に園としてできること、園に求められることのすり合わせを行い、災害時の協力体制を確立する。
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 清風園と合同で実施する地域防災会議において、災害時の一時避難所及び福祉避難所としての役割等、災害時の協力体制について確認を行う。
取組の方向性②	地域ボランティアを発掘し、地域との交流機会を作り、地域に開かれた施設づくりに改めて取り組む。
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 個人ボランティアリストを作成し、ミニデイサービス等行事の開催に当たり協力を依頼する。

(3) 安定的で持続的な経営基盤の確立

ア 収入の安定確保と経費増大の抑制で、安定性の高い財務体質を維持する。

実施施策	利用率の維持向上
取組の方向性①	安定した収支を維持できるよう、入退所に係る空床期間の短縮への取組と短期入所生活介護でのスケジュール管理と居宅介護支援事業所との連携によるキャンセル時の対応を図り、利用率の維持・向上を図る。
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 退所から新規入居までの空床期間縮減(1週間以内)に継続して取り組む。 入居希望調査をスムーズに進められるよう10月頃に入居申込者現況調査を実施し、入居待機者一覧表を整理する。

実施施策	居宅介護支援事業所の安定的経営
取組の方向性①	介護支援専門員の受け持ち件数を維持・向上し、居宅介護支援事業所の安定的経営を図る。
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 居宅介護支援及び介護予防支援の合計で39件の受持ち件数を維持する。

イ 中長期的な視点をもって、持続性の高い経営を行う。

実施施策	交流空間の拡充と既存建物の整備
取組の方向性①	1階へのパブリックスペース整備を検討し、交流空間の拡充を図る。
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 1階へのパブリックスペース整備の必要性を整理し、必要性が認められる場合は、事務局と協議を行う。
取組の方向性②	1階光庭の劣化に伴い、景観が悪化していることから、スチール目隠しフェンス設置、舗装整備を計画的に行う。
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 北棟光庭の舗装整備とスチール目隠しフェンス設置の必要性を検討する。

実施施策	機器類の計画的更新と大規模修繕への取組
取組の方向性①	故障やトラブルが発生しないよう設備機器の定期的な点検を実施する。また、更新が必要な設備機器については計画的に更新を行う。
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 年2回、業者立会いの下、設備機器（エコキュート、電話設備等）の点検を行う。
取組の方向性②	令和6年度から大規模修繕計画の対象となることから、令和5年度に大規模修繕が必要となる建物や設備の老朽化の把握を行い、事務局と連携しながら整備手法や優先順位の検討を行う。
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 大規模修繕計画について事務局と協議を行い、大規模修繕の実施時期を決定する。

ウ 組織内の連携を強化し、強固な組織体制と経営基盤を確立する。

実施施策	リスクマネジメントと法令遵守の強化
取組の方向性①	事業継続計画運用に関する職員の参加意識を高め、災害発生時の事業リスク把握や早期対応が実施できる体制づくりを行う。
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 一般職員向けにBCPの基本的事項に関する研修を継続して実施する。 管理職向けにBCP全般と運用に関する研修を継続して実施する。
取組の方向性②	法令や社会・社内規範に対する職員一人ひとりの意識を高め、法令遵守の徹底に向けた取組を強化する。
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度に実施したコンプライアンスチェックで不十分だった項目を三つ選択し、年間を通して改善に取り組む。 1月～2月にコンプライアンスチェックを実施し、取組成果を確認する。

実施施策	理念の浸透と実践
取組の方向性①	ユニットケア実践理念の浸透に取り組むと共に、ユニットケア実践理念に沿ったケアを実践できるよう、ユニットケア実践理念と実践の結びつけを行う。
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 理念と実践の結び付けシートを活用し、入居者の生活場面・ケア場面と実践理念の結び付けを継続して実施する。

3 目標利用率

事業名	令和3年度実績	令和4年度見込	令和5年度目標
介護老人福祉施設	97.4%	98.2%	98.0%
短期入所生活介護	92.7%	91.3%	92.0%
居宅介護支援	42件/月	34件/月	37件/月
介護予防支援業務受託件数	3件/月	5件/月	4件/月

4 固定資産物品購入計画

(単位：千円)

項目	数量	執行見込額（税込）
スタンディングリフト	1	
チルトリクライニング車椅子	2	
エアマット（ネクサスR）	1	
エアマット（ビッグセルアイズ）	1	
真空包装機	1	
パススルー冷蔵庫・冷凍庫	各1	
特浴用ストレッチャー	1	
デスクトップパソコン	3	
ノート型パソコン	2	

5 修繕計画（大規模修繕を除く。）

(単位：千円)

項目	執行見込額（税込）
クロス張替え工事	

6 大規模修繕計画

(単位：千円)

項目	執行見込額（税込）
該当なし	